

中山観光 季節のおはなし・旅便い10月号

澄み渡る空気が心地よく感じられる今日このごろ、いかがお過ごしでしょうか？

過ごしやすい気候となり、ご家族や、お友達同士でいろんなところへお出かけする方も多いのでは？早いところではそろそろ紅葉もはじまりますね。行楽をはじめ、グルメ、読書、スポーツと過ごし方も様々だと思いますが、それぞれに充実した時間が過ごせるのではないのでしょうか？カレンダーをめくると10月は神の無い月と書いて**神無月**と書かれています。10月は、全国の八百万(やおよろず)の神さまが、出雲の国に集まります。他の土地では、神様がお留守になるので「**神無月**」といいますが、出雲では、たくさんの神様がいらっしゃるので「**神在月**」となります。神々はなぜ、出雲に大集合なさるのでしょうか…… そう、会議をするため！

この会議は、神講(かむばかり)と呼ばれ、男女の結びをはじめ、人生における 色んな出会いについて、神さまが話し合うとされています。江戸時代に描かれた絵を見ると、木の札に人の名前を書き、相談してカッパを決めたあと、男女の札を結びつけて「縁結び」をしています。今年もきっと、人生を左右する大事な縁を結ぶのでしょうね。



10がら

といえは



芸術の秋

読書の秋

紅葉狩り



お月見と言ったら十五夜を思い浮かべる人が多いと思いますが実は、十五夜以外にもお月見をする日があります。それは十三夜です。

「十三夜」は一年のうちで2番目に美しい月夜とされています今年**10月18日(月)**が十三夜です。十三夜は、満月よりも左側が少し欠けた月を見ることが出来ます。(満月は2日後の10月20日)お月見に欠かせないのがお供えですよね。十三夜の月見団子は13個(又は3個)を並べます。月見団子にこだわらず、月に見立てた丸いどらやきやおまんじゅう、月餅などでも楽しいでしょう。十三夜の頃は栗や豆の収穫期なので「栗名月」「豆名月」という異名も。夕食では旬の栗ごはんや煮豆を味わってみてはいかがでしょうか。ケーキ屋さんや和菓子屋さんなどで栗スイーツが充実する時期なので、ベランダやお庭で美しい夜を眺めながら栗の優しい甘さに舌鼓、というのも素敵ですね。



10月31日はハロウィン

ハロウィンは、キリスト教の諸聖人に祈りを捧げる祝日「万聖節」の前夜祭として行われるヨーロッパ発祥のお祭りです。秋の収穫をお祝いし、先祖の霊をお迎えするとともに悪霊を追い払うお祭りで、日本でも親しまれているイベントのひとつです。ハロウィンのシンボルとしてよく目にするのが、目と口と鼻をくり抜いて中にキャンドルを灯した、かぼちゃのランタンと、魔女やお化けに仮装して近くの家々を訪れてお菓子をもらったりする姿です。子供たちにとっては1年のなかでもとっても楽しみなお祭りではないでしょうか？



紅葉便り

古くから日本には、お花見やお月見のように四季折々の自然の美しさを愛でる風習がありますが、同じく秋特有の自然の美しさを楽しむひとつに「紅葉狩り」があります。秋の楽しみといえばやっぱり紅葉を見に行くこと！山全体が赤く色づいた、うっとりするような秋の絶景。全国には滝や湖と一緒に眺められるスポットや、ライトアップされた紅葉を一望できる名所がたくさん。秋が深まり野山が赤や黄色で彩られると、その美しさに誘われて、紅葉狩りに出かけたくないませんか？そして、その中でも特に注目を集めるのが「日本三大紅葉名所」ですよ。この3つの名所、ご存じでしょうか？

栃木県 日光の紅葉 例年の見頃:9月下旬~11月上旬

標高差による色付きの異なる紅葉のグラデーションが楽しめます。いろは坂を上った先にある「中禅寺湖」や、紅葉の中を流れる滝に圧倒される「竜頭の滝」など、情緒ある見どころスポットがたくさん！

京都府 嵐山の紅葉

「渡月橋」とその背景に広がる山々が紅葉する光景は、上質な絵画のよう。また、世界遺産に登録されている「天龍寺」、夜になると紅葉がライトアップされる「宝厳院」、嵯峨野トロッコ列車から眺める紅葉など、見どころがいっぱいです。

大分県 耶馬溪の紅葉 例年の見頃:10月下旬~11月下旬

耶馬溪は、溶岩台地が川の水により侵食されてできた溪谷です。夫婦岩や烏帽子岩など「一目八景」と呼ばれる絶景ポイントや、無数の奇岩とその周辺に広がる色鮮やかな紅葉のコントラストは一見の価値ありです！

日常生活から離れ、知らない土地をのんびり観光するのはホントに楽しいです。旅先から帰った後に、もう次の旅行計画を立てるといふ方も多はず(´-`)ニコの観光とは光を照らすこと。観光の光は「その土地の素晴らしい魅力」を指しているのです。美しい景観を間近に望むことはストレス発散にもなりますし、気持ちも癒されます。また、どんなに美しい絶景がある場所に住んでいても、外から観に来る人たちと同じようにその良さを感じられないという話もあるようです。わざわざ遠くから観光に赴いて観るからこそ、美しさに価値や感動を見出せるのかもしれない。観光の光の源は日本人の「心」そのものなのかもしれません。

今年の紅葉狩りは、コロナの影響で、遠出をして見ることは叶わない人もいらっしゃるかもしれませんが、こういうときだからこそ、近所の穴場スポットを見つけてみるのもいいかもしれません。

弊社主催のバスツアーも10月半ばより再開いたします。秋の魅力たっぷりの企画をご用意して皆様のご参加をお待ちしております。



中山観光自動車株式会社
NAKAYAMA KANKO